

令和7年度 小佐世保小学校服務規律強化月間実施要項

1 目的

- (1) 教職員の不祥事が発生し、教育に対する期待や信頼が大きく損なわれている現状を厳しく受け止め、不祥事を防止する取組を強化するため、「服務規律強化月間」を設定し、教職員全員が共通認識をもって啓発運動を展開する。

2 実施時期及びテーマ

- (1) 第1回 4月 体罰の禁止 ハラスメント, わいせつ行為の防止 情報セキュリティ対策の徹底
- (2) 第2回 7月 体罰の禁止 ハラスメント行為の防止 情報セキュリティ対策の徹底
- (3) 第3回 12月 飲酒運転の根絶 公金等の不正処理防止

3 内容

- (1) 不祥事防止対策を教職員一人一人に浸透させ、実効あるものとするために取組を行う。
- (2) 教職員の倫理観を高め、コンプライアンスの体制を確立するとともに、働きやすい風通しの良い職場づくりにつながる取組を行う。

4 具体的な取組

各テーマに合わせて次の取組を行う。

【情報セキュリティ対策の徹底】

- ・情報セキュリティポリシーの内容確認
- ・チェックリストによるセルフチェック

【体罰の禁止】

- ・体罰についての研修会の実施
- ・チェックリストによるセルフチェック

【セクハラ, わいせつ行為の防止】

- ・自己分析チェックシートの実施
- ・セクハラ, わいせつ行為についての研修会の実施
- ・校舎内点検(死角がないか, 不審物が置かれても気づかない環境ではないか)

【飲酒運転の根絶】

- ・職員全員の運転免許有効期限の確認
- ・宴席時の交通手段の確認
- ・チェックリストによるセルフチェック

【公金等の不正処理防止】

- ・複数体制による会計監査の実施

令和7年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施計画書

所属名	佐世保市立小佐世保小学校		職名	教 頭
電話番号	(0956) 25-6755	作成者	名前	西川 貴子
年 間 実 施 計 画				
【目 標】 ・小佐世保小学校から不祥事を絶対に出さない。 ・服務規律の確保やコンプライアンスについて教職員一人一人の意識を高め、常に計画的な学校運営を行う。 ・「組織(なかま)で動く」を合言葉に、職場づくりを通して教職員の同僚性を高める。				
【具体的計画】				
実 施 月	実施テーマ		実施内容（主なもの）	
4 月	① 情報セキュリティ-対策の徹底 ② 体罰の禁止 ③ ハラスメント行為の防止		・校長講話（①～③） ・校長講話（事務の効率化） ・「コンプライアンス通信」の周知等による服務規律の徹底（通年） ・ノー残業デーの設定（通年）	
7 月	④ 体罰の禁止 ⑤ ハラスメント、わいせつ行為の防止		・教職員に向けて服務に関する研修（岩田） ・交通マナー向上に関する事例研修 ・自己分析チェックシート実施	
1 2 月	⑥ 飲酒運転の根絶と交通マナーの向上 ⑦ 公金等不正処理の禁止			
校内服務規律委員会活動計画				
委員会名	小佐世保小学校服務規律委員会			
構 成 員 7 名	校内の委員 校長 教頭 教務主任 生活指導主任 養護教諭 事務職員 外部委員 （役職等： 学校評議員）			
活動内容 (主なもの)	・ボトムアップ型の視点を加えた意見交換の場を設定する。 ・服務規律に関する研修計画および実施を推進する。			

令和7年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立小佐世保小学校		作成者	職名	教頭
電話番号	(0956) 25-6755			氏名	西川 貴子
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	・体罰の禁止 ・わいせつ行為の防止			
取組の評価・改善点 ・小佐世保小服務規律強化月間実施要領を全職員で確認し、不祥事根絶への意識が高まった。 ・「私の体罰根絶宣言」を全員提出し、体罰防止の意識が高まった。 ・わいせつに関する「自己分析チェック」を行い不祥事防止の意識が高まった。 ・転入職員の運転免許の保持、有効期限を確認した。					
7月	実施テーマ	・不祥事根絶			
取組の評価・改善点 ・ヒヤリハットの経験を共有し、そこから想定される不祥事について考えた。 ・子供に対する教師の発言によって児童がどう感じるのか話し合いを行うことで、言葉かけの質を高めようという意欲につながった。 ・不祥事が起きない職場について考えた。職員同士の交流の仕方や複数の目で確認をする、職員の心（時間）の余裕などの沢山の意見が出て活発な意見交換が行われ、不祥事防止に対する確かな認識ができた。					
1月	実施テーマ	・わいせつ行為の禁止			
取組の評価・改善点 ・女子更衣室にカーテンを設置し、棚以外何もない環境を作った。 ・教職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する内容について、全員で動画を視聴し、性暴力、被害者や加害者への影響などについて研修を行うことで性暴力の恐ろしさを実感し、絶対に起こしてはいけない犯罪だと認識を高めた。その後、服務規律に関する標語を個人で作成した。					
2 服務規律委員会					
委員会名	服務規律委員会				
構成員	所属内委員（6名 構成員：校長 教頭 教務主任 生活指導主任 養護教諭 事務職員）外部委員（1名 学校評議員）				
活動内容（主なもの）	・服務規律強化月間の計画作成（年3回の実施月 取組のテーマ 具体的な実施内容等） ・資料の作成				
活動内容の評価・改善点 ・女子更衣室の改善を行うことで児童も職員も安心安全な学校づくりの一端が担えた。 ・全職員で標語を作り、話し合うことで、自発的な活動につながり、不祥事の未然防止を図ることができた。 ・性暴力の内容を理解することで、不祥事を絶対に起こさないという強い意識を全職員で共通認識することができた。					
3 年間を通しての計画の達成状況					
年間を通しての取組状況チェックリスト					
(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）					
ア イ オ カ キ ク ケ コ					
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）					
(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 ※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。					
(○) できた () 概ねできた () 少し不十分 () できなかった					
(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。					
(○) できた () 概ねできた () 少し不十分 () できなかった					
(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。					
(○) できた () 概ねできた () 不十分だった () 実施していない					
資料添付				有 ・ <input checked="" type="radio"/>	

